

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0104102 - 06010

京 都 府 南 丹 市
作成日: 平成21年05月07日

事業名	保健センター管理運営費	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直 営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補 助 等	所 管 部 署 名 等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (防火設備・空調設備・清掃管理等)	福 祉 部 健 康 課 担当: 松村
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 141 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	南丹市保健センター設置条例	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
健康維持、増進及び疾病予防を促進するための拠点施設とする。
- ②事業を実施する必要性
保健事業等を円滑に実施するための拠点の場所として施設管理を行う。
- ③未実施事項
多くの市民が利用しやすい保健センターにするため、利用人数や利用回数の評価ができていない。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
子育て支援センターの支所拠点場所とする。

【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額		千円	9,860	9,485	9,246	10,340	10,340
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円	600	600	600	600	600
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0
	地 方 債	千円	0	0	0	0	0
一 般 財 源		千円	9,260	8,885	8,646	9,740	9,740
職 員 等 従 事 人 員		人/年	—	—	0.23		
人 件 費		千円	—	—	1,787		
事 業 費 総 額		千円	—	—	11,033		

【主な支出の内訳】

園部保健センター管理運営費	148千円 (修繕、消耗品)
八木保健センター管理運営費	2,030千円 (光熱費、修繕、消耗品、委託料等)
日吉保健センター管理運営費	4,670千円 (光熱費、修繕、消耗品、委託料等)
美山保健センター管理運営費	2,396千円 (光熱費、修繕、消耗品、委託料等)

【近隣市町村の取り組み状況】

--

【前年度の評価を受けて改善した点等】

消耗品等の使用を各保健センターで共有した。(消毒液等)

【所属長総括評価】

- ①環境に配慮した管理運営に心がけ、南丹市全体の保健センターとして位置づけ、広く市民が利用しやすい施設体制を協議した。
- ②旧町からの継続として、健康づくり拠点施設となっている。
- ③美山・八木保健センターは常時無人となっており、地域からは利用方法についての検討の声が上がっている。地域の実情に応じた使用方法の検討をしていきたい。又、21年度より各保健センターの予算を一本化し、効率的な予算執行としたい。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	141	事業名	保健センター管理運営費			
事業CD.	104102-06010	細事業名				
所管部局	福祉部	所管課	健康課	担当	松村雅枝	

104102-06010

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
園部 ター 保健 セン	健康維持、増進及び疾病予防を促進するための保健事業等を実施する活動拠点として、安全・効率的に使用ができるよう、施設管理を行った。	4月～3月	保健センター使用状況 65%
八木 ター 保健 セン	健康維持、増進及び疾病予防を促進するための保健事業等を実施する活動拠点として、安全・効率的に使用ができるよう、施設管理を行った。	4月～3月	保健センター使用状況 48%
日吉 ター 保健 セン	健康維持、増進及び疾病予防を促進するための保健事業等を実施する活動拠点として、安全・効率的に使用ができるよう、施設管理を行った。	4月～3月	保健センター使用状況 45%
美山 ター 保健 セン	健康維持、増進及び疾病予防を促進するための保健事業等を実施する活動拠点として、安全・効率的に使用ができるよう、施設管理を行った。	4月～3月	保健センター使用状況 39%